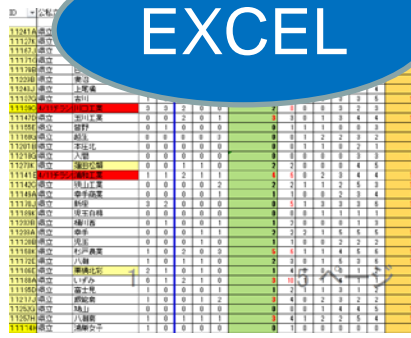


# EXCELと地図の連携により顧客・住所リストを見える化 営業リスト見える化ツール


株式会社デバイスワークス  
代表取締役 加賀屋太郎

キーワード EXCEL 見える化 GoogleMAP 座標変換

EXCELにある住所情報を緯度経度に変換し、GoogleMAP上にデータプロット。位置情報に「数値軸」2軸+「カテゴリ」1軸を[円柱]で図化して表示するツール



EXCEL



見える化

EXCELデータをCSV変換することなく、リンクによって制御されているため、そのまま利用可能。  
データ更新や項目軸の追加などがEXCELの知識だけで地理空間情報を入力ができるのが最大の特徴です。

## ジオコーディング

住所は、番地・号まで対応。半角・全角・町丁目や4-5-6などの表現が整ってなくても、住所を正規化し、緯度経度に変換してプロットします。  
EXCELのフォーマットに制限はありませんので、自由な形式のまま「列」指定だけでOK。

## 背景地図の用意が不要

GoogleMAPを背景として利用しますので、対象のベース図を用意する必要がありません。更新頻度も一般的なGoogleMAPと同じ頻度で更新され、航空写真モード+道路、地形モードも同様に利用可能です。

## GISとの連携

変換した座標データはshpで出力可能です。  
また、GPSロガーなどで抽出した座標でもプロット可能で、GISのデータも背景データとして取り込めます。

